

2019都体協振第155号
令和2年1月24日

本会加盟団体（競技団体）事務局長 殿

公益財団法人東京都体育協会

理事長 並木 一夫

（印章省略）

令和2年度公認アスレティックトレーナー養成講習会
新規受講希望者の推薦について（依頼）

平素より、本会諸事業に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして公益財団法人日本スポーツ協会より下記及び別紙のとおり候補者の推薦について依頼ありましたので、ご連絡申し上げます。

つきましては、同封資料をご確認の上、トレーナーとしての活動がこれまでに顕著であり、資格取得後も貴団体と密接に協力し、継続的に活動できる方をご推薦いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 提出書類

（1）受講者推薦書

※本推薦書の内容も審査の対象となりますので、ご承知おきください。

（2）受講希望者経歴書

※様式データは（公財）日本スポーツ協会ホームページ記載のATインフォメーション「令和2年度公認アスレティックトレーナー養成講習会および受講者の募集について」からファイルをダウンロードしてご使用ください。

URL：<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid218.html>

（JSPO トップページ → スポーツ指導者（資格関係） → ATインフォメーション）

※受講希望者本人がPCにて記入してください（読み間違えの恐れがありますので、手書きの経歴書は受理できません。）。

※前年度以前の旧書式は使用しないようご注意ください。旧書式を使用されると、選考対象外となる場合があります。

2. 推薦締切

令和2年2月21日（金）必着

上記提出書類を郵送およびE-mailにより下記担当までご提出ください。

3. 同封資料

(1) 開催要項

(2) 受講者選考基準

※受講希望者の方もご熟読するようお願いください。

(3) 受講の流れ

(4) 受講者推薦書

(5) 受講希望者経歴書（A3版用紙をA4版に縮小しております。）

(6) 共通科目Ⅲ集合講習会 受講会場一覧・基本日程表（予定）

4. 受講者の選考について

受講者審査会における選考方法については、同封の選考基準をご確認ください。

5. その他

受講者として決定した場合は、本講習会受講有効期限内に他の公認資格の受講はできません。また、他の公認資格を受講中の方も本講習会の受講はできませんのでご注意ください。

【問合せ先】

（公財）東京都体育協会 事業部スポーツ振興課 坂部

〒160-0013 新宿区霞ヶ丘町4-2

Japan Sport Olympic Square 10階

TEL : 03-6804-8121 FAX : 03-6804-8263

E-mail : m-sakabe@tokyo-sports.or.jp

令和2年度日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会 開催要項

1. 目的

日本スポーツ協会（以下「JSP0」という。）は、公認スポーツ指導者制度に基づき、JSP0 公認スポーツドクター及び公認コーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、外傷・障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション、体力トレーニング及びコンディショニング等を担当する公認アスレティックトレーナーを養成する。

2. 主催 公益財団法人日本スポーツ協会

3. カリキュラム

(1) 共通科目（150 時間：集合講習及び自宅学習）

※公認スポーツ指導者養成講習会共通科目Ⅲ

1.	グッドコーチ（日本スポーツ協会公認スポーツ指導者）に求められる人間力
2.	グッドコーチに求められる医・科学的知識
3.	現場・環境に応じたコーチング

(2) 専門科目（600 時間：集合講習及び自宅学習）

1) アスレティックトレーナーの役割	30h
2) スポーツ科学	120h
3) 運動器の解剖と機能	60h
4) スポーツ外傷・障害の基礎知識	60h
5) 健康管理とスポーツ医学（ドーピングコントロール含む）	30h
6) 検査・測定と評価	60h
7) 予防とコンディショニング	90h
8) アスレティックリハビリテーション	90h
9) 救急処置（各自赤十字救急法救急員の資格を別に取得する）	30h
10) スポーツと栄養	30h

(3) 現場実習（180 時間）

1) 見学実習	30h
2) 検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習	30h
3) スポーツ現場実習	30h
4) アスレティックリハビリテーション実習	30h
5) 総合実習	60h

4. 実施方法

(1) 共通科目

- ・事前学習：リファレンスブックによる自宅学習及び知識確認（オンライン）テストを実施する。
※集合講習会参加前に必ず知識確認テストを修了（リファレンスブック目次「1章」「2章」「3章」それぞれ「正解率60%以上」）すること。集合講習会参加前に知識確認テストを修了しなかった場合、集合講習会へ参加できない。
- ・集合講習会：2020年7月から11月にかけて、4日間で実施する。
※講習会参加に係る経費（交通費、宿泊費等）については自己負担とする。
- ・事後学習：リファレンスブック等による振り返り、現場実践を踏まえた課題を提出（オンライン）する。
※集合講習会で学んだ内容等に基づく課題を所定の期限までに取組み、レポートを作成・提出すること。

(2) 専門科目

- ・集合講習会：以下の通り実施する。
 - 1期（2日間：13時間） 2020年11月21日、22日
 - 2期（4日間：29.5時間） 2021年1月23日～26日
 - 3期（5日間：37時間） 2021年6月頃
 - 4期（6日間：51時間） 2021年8月頃
 - 5期（6日間：46.5時間） 2021年10月頃
- ※東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームス2021関西の開催に伴い、集合講習会の開催日程は変更となる場合がある。
- ※集合講習会は、必ず1期から5期の順で受講しなければならない。
- ※4期講習会受講前に日本赤十字社の救急法救急員養成講習を受講し、検定試験に合格の上、有効期間内の認定証を必ず提出しなければならない。
- ・自宅学習：各自でテキスト及びテキストワークブックを中心に行う。

5. 受講者

公認スポーツ指導者育成の受講者受入方針（アドミッション・ポリシー）に定める内容の他、以下受講条件に合致する者を本講習会の受講者として受け入れる。

(1) 受講条件

- ・受講する年の4月1日現在、満20歳以上の者で、JSP0、JSP0加盟団体（都道府県体育・スポーツ協会、中央競技団体等）及びJSP0が特に認める国内統轄競技団体（以下「加盟団体等」という。）から推薦され、受講者選考基準を満たす者
- ・受講有効期間内に講習の全日程に参加が可能である者
- ・本講習の受講に支障がない健康状態である者
- ・受講内定後インターネットサービス「指導者マイページ（<https://my.japan-sports.or.jp/login>）」から申込が出来る者。

(2) 受講者数

100名以内

6. 受講申込み

受講希望者は所定の受講希望者経歴書に必要事項を記載し、加盟団体等に提出する。

加盟団体等は、受講者推薦書を作成し本人が記載した受講希望者経歴書とともにJSP0へ定められた方法で提出する。

7. 受講料 87,000円(税別:受講内定時に納入)

<内訳> ・共通科目: 20,000円 ※リファレンスブック代別途3,000円(税別)

・専門科目: 67,000円

※免除・資格審査料等については別に定める。

※実技試験受験料については受験1回ごとに30,000円(税別)を納入する。

詳細は検定試験実施要項で定める。

8. 受講有効期間: 5年間

9. 受講者の内定から決定までの流れ

(1) 加盟団体等から提出された受講者推薦書及び受講希望者経歴書に基づき、JSP0指導者育成委員会アスレティックトレーナー部会(以下「AT部会」という。)において活動実績等を審査の上、受講者を内定し、推薦を行った団体及び本人宛に通知する。

(2) 受講内定者は、インターネットサービス「指導者マイページ(<https://my.japan-sports.or.jp/login>)」のアカウント登録手続きを行い、指導者マイページから本講習会の申込手続きを行い、受講料をJSP0に納める。

(3) JSP0において受講料の入金を確認した後、受講者として正式に決定する。

10. 講習・試験の免除

既存資格及びJSP0免除・適応コースの履修等により、講習・試験の一部又は全部を免除することができる。免除に関する詳細は別に定める。なお、養成講習会受講者は現場実習を免除する。

11. 検定試験・審査

(1) 共通科目は知識確認テスト及び事後学習の課題提出、専門科目は理論試験及び実技試験を実施する。

(2) 共通科目における知識確認テストは一定以上の知識を有することを確認し、事後学習後の課題はJSP0において内容を審査する。

(3) 専門科目における検定試験は、専門科目講習会を全て受講し、JSP0の定める救急処置に関する資格を取得している者が受験できる。

(4) 専門科目における検定試験は、理論試験、実技試験の総合判定とし、JSP0におい

- て審査する。但し、実技試験は理論試験に合格した者が受験することができる。
- (5) 共通科目及び専門科目の全ての検定試験に合格した者を「JSP0 公認アスレティックトレーナー養成講習会修了者」として認める。

11. 登録及び認定

- (1) 共通科目及び専門科目の全ての検定試験に合格するなど、所定のカリキュラムを修了し、JSP0 公認アスレティックトレーナーとして必要な資質能力を修得した者を修了者（「新規登録」対象者）と認め、修了通知と登録案内を送付する。
- (2) 公認スポーツ指導者登録規程に基づき、登録手続き（登録料の納入等）を完了した者を JSP0 公認アスレティックトレーナーとして認定し、「認定証」及び「登録証」を交付する。

※ JSP0 倫理規程第 4 条に違反する行為があったとして JSP0 が認めた時は、登録の権利を失い認定されない場合がある。

- (3) 登録料は 4 年間で 20,000 円（基本登録料 10,000 円+資格別登録料 10,000 円）とする。なお、初回登録時のみ初期登録手数料 3,000 円が別途必要となる。
- ※ すでに公認スポーツ指導者資格を取得している場合は、登録料が異なる場合がある。
- (4) 資格の有効期間は 4 年間とし、4 年毎に更新する。ただし、JSP0 公認アスレティックトレーナー以外に JSP0 公認スポーツ指導者資格（スポーツリーダーは除く）が認定されている場合、初回の有効期間は、新規認定期日からすでに認定されている資格の有効期限までとする。
- (5) 有効期間満了に伴う「更新登録」にあたっては、有効期限の 6 カ月前までに、JSP0 又は JSP0 加盟団体等の定める更新研修を受講するとともに、研修受講時に一次救命処置（心肺蘇生法及び AED）に関する資格認定証を提示しなければならない。

12. 注意事項

- (1) 受講有効期間は、原則として受講開始年度を含め共通科目検定試験及び専門科目理論試験合格まで 5 年間とし、最終年度の 3 月 31 日までとする。また、専門科目実技試験は専門科目理論試験に合格した後、受講有効期間に関らず 2 回まで受験することができる。
- なお、受講有効期間内に共通科目検定試験及び専門科目理論試験に合格しない場合は、その時点で受講者としての権利をすべて喪失する。
- (2) 本講習会受講に際し取得した個人情報、本講習会受講者の管理及び諸連絡以外には使用しないものとする。
- (3) 本講習会の受講有効期間内に他の JSP0 公認スポーツ指導者養成講習会の受講はできない。また、受講申込時点で他の JSP0 公認スポーツ指導者資格養成講習会の受講有効期間内又は未修了の場合は、本講習会への受講申込はできない。
- (4) 受講者の推薦に際し、加盟団体等は団体内の医科学委員会やアスレティックトレーナー協議会等の意見を十分に聴取した上、アスレティックトレーナーに関する

- 担当委員会等において決定すること。
- (5) 同一人物が同一年度に複数の団体から推薦を受けた場合、一団体からの推薦のみを審査対象とする。なお、いずれの団体からの推薦を受理するかは JSP0 アスレティックトレーナー部会にて決定する。
 - (6) 受講申込みから資格取得までの概要については別紙を参照すること。
 - (7) 講習会（共通科目・専門科目）開催にかかる経費については、原則として JSP0 が負担するが、受講者の旅費（宿泊費含む）に関する補助は行わない。
 - (8) 受講内定者が受講を辞退した場合、当該推薦団体から追加の内定は行わない。
 - (9) 受講者としてふさわしくない行為があったと認められた場合は、JSP0 指導者育成委員会及び AT 部会で審査し受講が取り消される場合がある。
 - (10) 本講習会風景の写真等は、JSP0 ホームページ及びその他関連資料へ掲載する場合がある。
 - (11) 天災地変や伝染病の流行、講習会場・輸送機関等のサービスの停止、官公庁の指示等の JSP0 が管理できない事由により、講習会内容の一部変更及び中止のために生じた受講者の損害については、JSP0 ではその責任を負わない。
 - (12) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームス 2021 関西の開催に伴い、専門科目集合講習会の開催日程は変更となる場合がある。

スポーツと、望む未来へ。

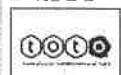


公益財団法人

日本スポーツ協会

JSP0
Japan Sport Association

スポーツくじ



この講習会は、スポーツ振興くじの助成金を受けて開催されています。

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会受講者選考基準

当協会公認アスレティックトレーナー（以下「JSPO-AT」という）養成講習会の受講者選考は、当協会指導者育成委員会アスレティックトレーナー部会において、以下のとおり選考基準を設けています。

つきましては、下記事項をご留意の上、受講者を推薦いただきますようお願いいたします。

1. 受講者選考基準について

受講希望者経歴書に基づき下記の要点で選考しますので、未記入または記入内容が著しく乏しい場合は、推薦団体に確認することなく無条件で選考対象外としますのでご注意ください。

(1) トレーナーとしてのスポーツ現場における活動実績*

- ①活動年数（2年以上の継続した実績があり、現在も活動をしていること。）
- ②活動内容
- ③活動対象
- ④現在の活動の有無（現在の活動がない場合は選考対象外）

* トレーナーとしてのスポーツ現場における活動実績とは、JSPO-AT の役割にある「競技者の健康管理、外傷・障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション、体カトレーニング、コンディショニング等」のスポーツ現場での複数の活動とする。

従って、単なるトレーニング指導や医療従事者等が自身の生業として病院や施術所等で行う業務、一般人向けの健康指導等はこれにあたらぬ。

【トレーナーとしての実績とはみなさない例】

- 例 1) 病院でスポーツ選手のリハビリテーションを担当している。
- 例 2) 施術所でスポーツ選手の外傷治療を行っている。
- 例 3) 体カトレーニング指導のみを行っている。
- 例 4) フィットネスクラブで健康・体力向上のための運動指導を行っている。

(2) 推薦団体とのこれまでの関わり

- ①推薦団体内でのトレーナーとしての活動実績
- ②国民体育大会を含む国内での活動実績
- ③国際大会での活動実績
- ④推薦中央競技団体に関連した競技・種目でのトレーナー実績（中央競技団体等・プロスポーツ団体推薦者のみ該当）

(3) 資格取得後の推薦団体における活用方法

- ①推薦団体での今後のトレーナーとしての活用方法
- ②推薦団体での国民体育大会や国際大会での活用方法

※推薦団体が記載する推薦書の内容についても審査対象となります。

(4) スポーツ医・科学に関する研修会・セミナー・学会等の参加実績

- ①複数回の参加実績の有無（参加実績がない場合は選考対象外とします）

※参加・受講の機会が一般に開かれているものとし、私的な勉強会は対象外とします。

(5) 現在のトレーナー活動について

- ①現在の活動内容
- ②無資格で医療類似行為をしていないかどうか
- ③具体的な活動内容が詳細に記入されているか
- ④現在トレーナーとして関わっている競技と、推薦団体との関わりや活動実績に整合性があるか

⑤単に自身の生業としての業務でないか

(6) 受講希望者の動機、保有資格

- ①熱意が感じられるか
- ②単に自身の生業のための資格取得ではないか
- ③保有している医療資格やその他トレーナー関連資格はあるか

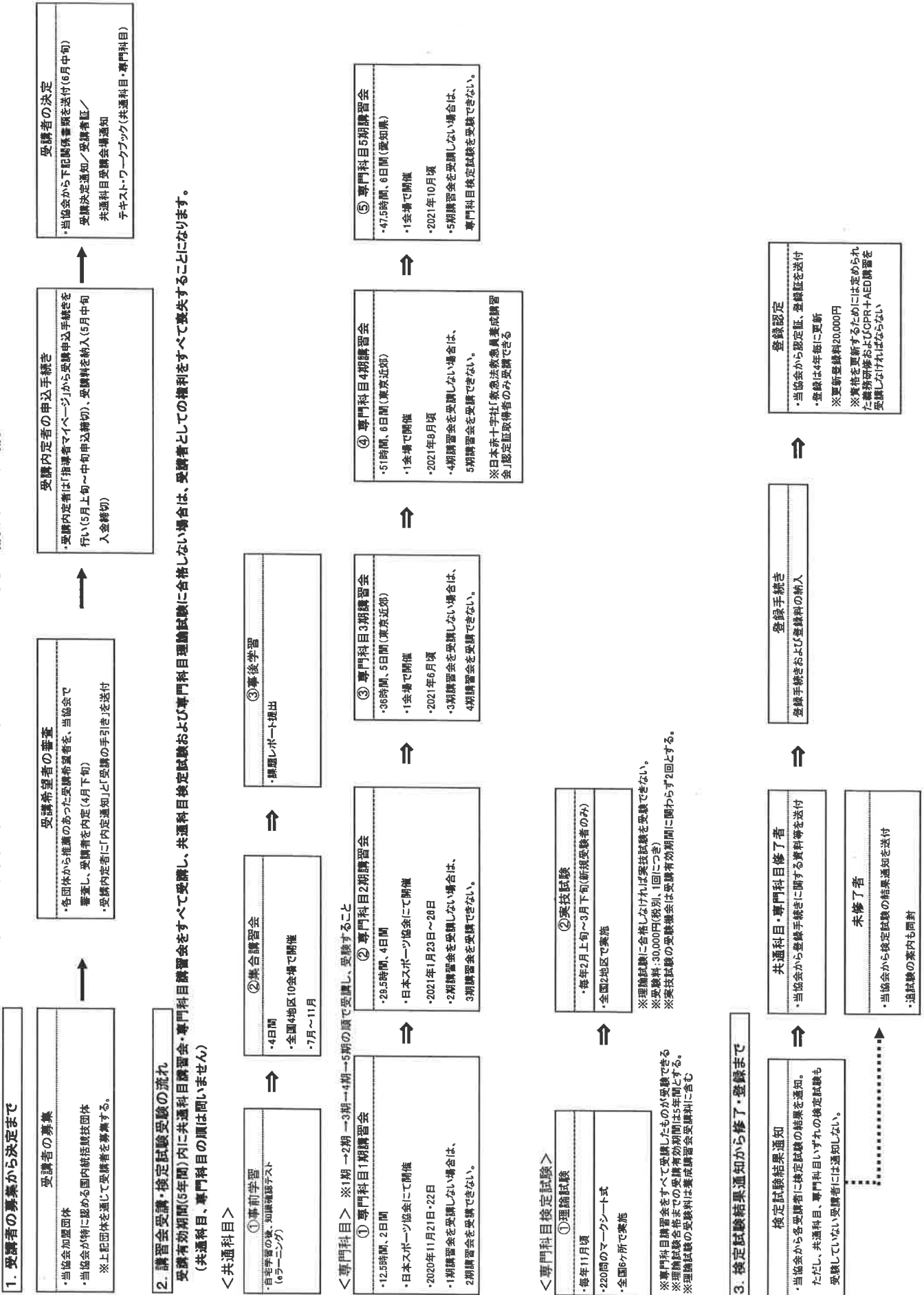
(7) 過去の受講歴

- ①過去の受講歴（共通科目検定試験、理論試験、実技試験の結果）

(8) 留意事項

- 推薦にあたっては、JSPO-AT に求められる役割・資質等についてふさわしい人物を、推薦団体内のスポーツ医・科学委員会やトレーナー部会、都道府県トレーナー協議会またはそれに類する組織等において決定してください。または、それらの組織の意見を十分に聴取した上で推薦者を決定し、公平性ならびに透明性が保たれるようご注意ください。
- 受講希望者に対しては、経歴書の内容を**熱意が感じられるよう記述**するよう指示してください。

令和2年度公認アスレティックトレーナー養成講習会 受講の流れ



令和2年度公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会受講者推薦書

1. 受講希望者について記入してください。

推薦 順位	①受講希望者名	②推薦団体でのこれまでの主な活動内容 (具体的に記入してください)	③資格取得後推薦団体での活用方法 (具体的に記入してください)	④過去の推薦 実績
1				
2				

※ 審査の結果、受講内定者が出ない場合や、推薦順位下位の者を受講者として内定する場合があります。

2. 受講希望者を決定した会議体や協議会の名称を記入してください。貴団体所属の JSPO-AT やスポーツドクターの推薦があった場合はその方の氏名を記入してください。

例：本会医科学委員会にて決定／公認 AT〇〇氏の推薦／本県トレーナー協議会の推薦 等

3. 日本スポーツ協会では JSPO-AT の活躍の機会を増やすため、資格を取得した JSPO-AT の各種大会への帯同や各団体における活用を促進したいと考えております。そこで、これまで貴団体から受講者として推薦し、JSPO-AT 資格を取得した方々の活用状況について記入してください。また、団体内で JSPO-AT の活用を明文化している規定等がある場合は、推薦書と併せてご提出ください。

例：国体本部役員として帯同を義務付けている／ナショナルチームに帯同を義務付けている／国内リーグの各チームに帯同を義務付けている 等

団 体 名

担 当 者 名

※本推薦書に記載の内容についても受講者選定における審査対象となりますので、内容が十分にわかるように記載してください。

令和2年度日本スポーツ協会公認アスリートトレーナー養成講習会
受講希望者個人調査

フリガナ	性別	生年月日(年齢)		
氏名		1985/01/01 満34歳		
		*西暦(yyyy/mm/dd)で記入 ※2020年4月1日現在		
現住所	〒			
	住所			
	自宅TEL	携帯TEL		
	E-mail			
勤務先及び住所	<勤務先名>		<役職(身分)>	
	〒			
	住所			
	勤務先TEL			
	<学校名>	卒業年月		
	<学校名>	卒業年月		
過去のJSPPO-AT養成講習会受講状況		前回の受講状況	実技試験	
		専門科目講習会	理論試験	
*受講動機を詳細に記載してください。別添添付可				
受講動機				
*JSPPO-AT資格取得後の活動予定や行いたい取り組みについて具体的に記入してください。別添添付可				
JSPPO-AT資格取得後の活動				

本調査については3月11日(水)までに推薦団体から日本スポーツ協会へExcel形式でも併せて送付ください。
送付先: ar@japan-sports.or.jp

トレーナーとしての活動経歴 (※別紙添付可)	期間	指導対象、団体・サークル名	競技	頻度	1回あたりの時間	主な活動内容
	西暦(yyyy/mm/dd)で記入					
研修会・学会等名称	主権団体	期日	時間数	主な内容(サークル)		
学術集会や研修会等への参加実績						
現在のトレーナー活動	関わっている競技・種目	主な活動内容				
*現在のトレーナー活動について具体的に記入してください。別添添付可						
保有資格	■下記事項(保有資格・スポーツ団体に関する活動歴)で該当する箇所がありましたら、ご記入ください。					
	資格名	認定番号	認定団体			

*本講習会受講に際し取得した個人情報、当協会及び当該協会公認スポーツ指導者資格養成団体が講習会実施に係る業務を遂行する際に利用し、これ以外の目的に個人情報を使用する際は、その旨を明示した解を得るものとする。

<推薦団体記入欄>
2020年 月 日

推薦団体名	
担当委員長等	
推薦者名	役職:

氏名: 印

令和2年度日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会
受講希望者個人調書

フリガナ	タイキヨウ タロウ	性別	男	生年月日(年齢)	1987/04/01 満32歳
氏名	体協 太郎				※西暦/yyyy/mm/ddで記入 ※2020年4月1日現在
現住所	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町0-0-0 〇〇マンション101号室	住所	〒03-0000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町0-0-0	携帯用	090-0000-0000
勤務先及び住所	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町0-0-0 勤務先名 〇〇スポーツクリニック	住所	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町0-0-0	勤務先名	〇〇スポーツクリニック
学歴(最終学歴から最大3つまで)	〇〇大学 〇〇学部 〇〇大学大学院 〇〇専攻博士前期課程 〇〇大学大学院 〇〇専攻博士後期課程	卒業年月	2010年3月	卒業年月	2012年3月
過去のJSPO-AT養成講習会受講状況	〇〇県スポーツ協会 前回の受講番号 220AT0001	前回の受講状況	合格	実技試験	2回不合格
受講動機	これまでのトレーナーとしての活動歴 ・現在のトレーナー活動で感じていること ・AT資格を取得しようと思ったきっかけ ・AT資格取得にあたっての意気込み	前回の受講状況	合格	実技試験	2回不合格
JSPO-AT資格取得後の活動	※JSPO-AT資格取得後の活動予定や行いたい取り組みについて具体的に記入してください。別添添付可 ・AT資格取得後に予定している活動内容や新たに行きたい活動 ・AT資格を取得することによって自身かどのように成長するか ・JSPO-AT資格取得後の活動に向けた意気込み				などを記載してください

本調書については3月11日(水)までに推薦団体から日本スポーツ協会へExco形式でも併せて送付ください。
送付先: at@japan-sports.or.jp

期	期間	指導対象、団体・チーム名	競技	頻度	1回あたりの時間	主な活動内容
2010年4月	現在	高校生 ●●高校野球部	野球	週1回	3時間	コンディショニング指導
2016年4月	現在	A代表ナショナルチーム	野球	毎年1回	6時間	コンディショニング指導
2018年6月	2019年2月	成人選手 ナショナルチーム	水球	月1回	2時間	コンディショニング・ペリテーショニング
2018年9月	2019年9月	一般人 ●●マラソン大会	陸上	1回	8時間	救急対応
※提出日現在まで活動が継続している経歴は、備考欄に記入してください。※1回で終了する大会等などについては始まりの期間のみ記載してください。						
※提出日現在まで活動が継続している経歴は、備考欄に記入してください。※1回で終了する大会等などについては始まりの期間のみ記載してください。						
※主が指導対象を記載していただくのは可能限り詳細に記載してください。						
※主に関係のある競技名を記載してください。						
※おおよその指導頻度を記載してください。						
※おおよその指導時間を記載してください。						
※主に何を行っている指導内容を1つ記載してください。						
研修会・学会等名称	主催団体	期日	時間数	主な内容(テーマ)		
第1回日本アスレティックトレーナー学会 学術大会	アスレティックトレーナー協会	2019年7月20、21日	1日8時間	「アスレティックトレーナーの存在・価値・意識」		
●●県トレーナーセミナー	協賛会	2018年3月21日	4時間	チームング、スプリントの実践		
現在行っている競技・種目	野球	主な活動内容	コンディショニング指導・救急対応			
※現在のトレーナー活動について具体的に記入してください。別添添付可						
・対象(ナショナル、年齢、性別など) ・頻度(1週間にどれくらい活動をしているか) ・活動内容(主な活動内容で記載したものに具体的な) ・活動にあたって心がけていること ・自身のトレーナーとしての目標 ・自身の知識、技術を高めるために行っていること						
下記の事項(保有資格・スポーツ団体に関する活動歴)で該当する箇所がありましたら、ご記入ください。						
保有資格	NATA-ATC 救急士 救急員 救急士 救急士	認定番号	認定団体	BOC 日本アスリート協会		
推薦団体名	推薦団体記入欄					
担当委員会等	推薦団体記入欄					
推薦者名	推薦者名 役職:					
氏名:	氏名:					
印	印					

※本講習会受講に際し取得した個人情報、当協会及び当協会公認スポーツ指導者資格養成団体が講習会実施に係る業務を遂行する際に利用し、これ以外の目的に個人情報を使用する際は、その旨を明示した解を仰るものとします。

推薦団体記入欄

推薦団体名

推薦者名

氏名:

印